

マスネ 《サンドリヨン》 初版・初期楽譜

(フランス初版とイタリア初版)

水谷 彰良

《サンドリヨン (*Cendrillon*)》4 幕と六つのタブローの妖精物語 (ペロー原作) (conte de fées en 4 actes et 6 tableaux) (d'après Perrault)

台本：アンリ・ケン (Henri Cain, 1857-1937)

原作：シャルル・ペロー (Charles Perrault, 1628-1703) の童話『サンドリヨン、または小さなガラスのスリッパ (*Cendrillon ou la Petite Pantoufle de verre*)』(1667年)

作曲：ジュール・マスネ (Jules Massenet, 1842-1912)

初演：1899年5月24日、国立オペラ=コミック座 (Théâtre National de L'Opéra-Comique)

メモ

シャルル・ペロー (Charles Perrault, 1628-1703) の『サンドリヨン、または小さなガラスのスリッパ (*Cendrillon ou la petite pantoufle de verre*)』(1697年)を原作とするマスネの《サンドリヨン》は、1896年に総譜が完成し、翌97年に初演が予定されたが、さまざまな事情で1899年まで見送られ、1899年5月24日、国立オペラ=コミック座 (オペラ・コミック座/サル・ファヴァール) の初演で成功を収めた。物語は比較的ペローの原作に忠実であるが、第4幕に顕著な違いがある。

1) 初版楽譜 (パリ、ウージェル商会、1899年)

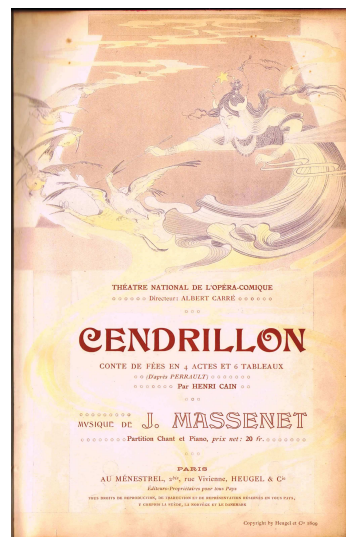
初版楽譜 (ピアノ伴奏譜) パリ、ウージェル商会、1899年 プレート番号:H & Cie.18,421.

Partition Chant et Piano., Heugel et Cie., Paris, 1899. [First edition, first issue.] * 1 vocal score ([8], 366 p.) ; 27 cm, p.n. H. et Cie.18,421.

[Collezione privata di Akira Mizutani - Tokyo]

タイトル頁記載：

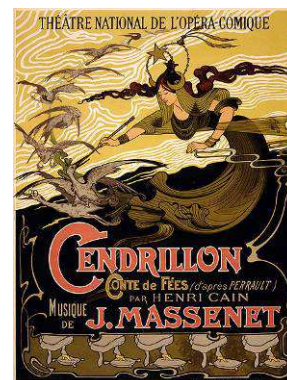
THÉÂTRE [sic] NATIONAL DE L'OPÉRA-COMIQUE / Directeur: ALBERT CARRÉ / CENDRILLON / CONTE DE FÉES EN 4 ACTES ET 6 TABLEAUX / (D'après PERRAULT) / Par HENRI CAIN / MUSIQUE De J.MASSENET / Partition Chant et Piano, prix net: 20 fr. / PARIS / AU MÉNESTREL, 2 bis, rue Vivienne, HEUGEL & Cie / Éditeurs-Propriétaires pour tous Pays / [...] / TOUS DROITS DE REPRODUCTION, DE TRADUCTION ET DE REPRÉSENTATION RÉSERVÉS EN TOUS PAYS, / Y COMPRIS LA SUÈDE, LA NORVÈGE ET LE DANEMARK / Copyright by Heugel et Cie 1899



初版楽譜の概要

《サンドリヨン》の初版楽譜は、1899年にパリのウージェル商会 (Heugel et Cie.) の刊行したピアノ伴奏譜である。筆者所蔵のそれは背革装のハードカバーに再装丁され、外装 27.5×19 cm、楽譜部分は 27×17.5cm。プレート番号：H. et Cie.18,421。楽譜に先立つ8頁は、[1]タイトル頁 (東洋風の挿絵入り) [2]無地 [3]初演データと配役 (DISTRIBUTION [但し初演データは1899年5月のみで、初演日を入れるための空白あり]) [4]挿絵 (ガラスの靴) [5]-[7]目次 (TABLE 第2幕と第3幕冒頭頁などノンブルに誤植あり) [8]挿絵 (女性たちの踊る姿 [下部に Devambez, Graveur, Paris.と記載])。楽譜は全366頁 (1-366)。

タイトル頁の挿絵は東洋風で、作者は画家・版画家アンドレ・ドヴァンベ [デヴァンベス] (André Devambez, 1867-1944) で、初演時に制作されたポスターが原画に当たる (右図)。後述するように、マスネは初演前後に第4幕を改訂し、ウージェル商会はこれを反映させた第2版のピアノ伴奏譜を1899年または1900年に出版した。初版楽譜 (全366頁) は初刷しか確認できず、ただちに第2版と差し替えられたと思われる。



24小節分の削除が初演の前なのか後なのか、後であればどの時点で行われたかについては、自筆楽譜、初演と最初期上演の印刷台本（パリ初演に続いて同年11月3日にブリュッセル、12月15日にジュネーヴで上演）を検証しなければ答えを出せない。しかし、12月28日にミラーノで行われたイタリア初演のためにウージェル商会が作成したイタリア語バージョンの楽譜でカット済みであることから、1899年中であるのは明白である。次に、イタリア語版の初版楽譜についても明らかにしておきたい。

2) イタリア初版（ミラーノ、エドアルド・ソンゾーニョ、1899-1900年）

イタリア初版楽譜（ピアノ伴奏譜） ミラーノ、エドアルド・ソンゾーニョ、1899-1900年 プレート番号：H. & Cie.19,654.

Spartito riduzione per canto e piano., Edoardo Sonzogno., Milano, 1900. [First edition, first issue.]

* 1 vocal score ([8], 363 p.) ; 28 cm, N. di lastra: H. & Cie.19,654. [Collezione privata di Akira Mizutani – Tokyo]

タイトル頁記載：

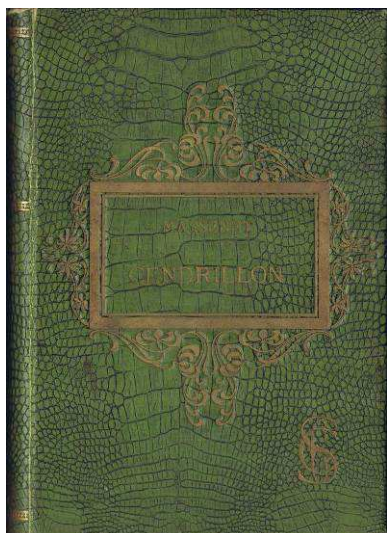
CENDRILLON / FIABA IN QUATTRO ATTI E SEI QUADRI / (da PERRAULT) / PAROLE DI / ENRICO CAIN /
MUSICA DI GIULIO MASSENET / Traduzione ritmica italiana di AMINTORE GALLI / Riduzione per CANTO e
PIANOFORTE / Prezzo L. 20 / [左] MILANO / EDOARDO SONZOGNO / Via Pasquirolo, 14. / [右] PARIS / HEUGEL
& C.ie / Rue Vivienne, 2 bis. / [下部記載] Copyright by Heugel & C.ie, 1899.

イタリア初版楽譜の概要

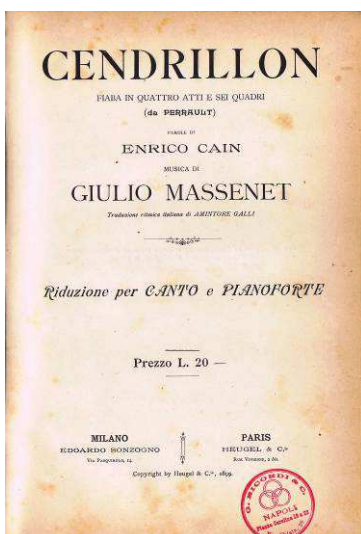
《サンドリヨン》のイタリア初版楽譜は、この作品の著作権を持つウージェル商会と提携するミラーノのエドアルド・ソンゾーニョ社 (Edoardo Sonzogno) が刊行したピアノ伴奏譜である（刊年は1899-1900年、歌詞はイタリア語訳のみ。総譜は貸譜として制作）。プレート番号「H. & Cie.19,654.」から、楽譜原版がウージェル商会の制作と判る。題名・役名ともにフランス語の「Cendrillon (サンドリヨン)」のままで、Madama de la Haltière (ド・ラ・アルティエール夫人。人物表ではHaltièreとアクサン誤植) もフランス版と同じである。筆者所蔵のアイテムはワニ革のハードカバーに再装丁され、外装28.2×20.5cm、楽譜部分は27.5×19cm。プレート番号：H. & Cie.19,654。楽譜に先立つ8頁は、[1]:ハーフトイトル [2]:無地 [3]:タイトル頁 [4]:出版社クレジット [5]:登場人物 (PERSONAGGI) [6]:無地 [7]-[8]:目次 (INDICE DEI PEZZI) 楽譜は全363頁 (1-363)。

タイトル頁と楽譜冒頭頁に「Copyright by Heugel & C.ie, 1899.」とあるが、ソンゾーニョ社の出版データは[4]の出版社クレジット最下部に示された「Milano, 1900. – Stabilimento della Società Editrice Sonzogno.」である。このエディションは1899年12月28日にミラーノの国際リコ劇場で行われたイタリア初演に先立って制作され、同年末もしくは翌1900年に刊行されたが、これに続く第2版の楽譜は確認できず、初版のみの刊行で終わったようだ。すでに述べたように、第4幕の音楽はウージェル商会の初版ではなく第2版と一致しており、ウージェル商会の第2版が1899年中に成立し、それに基づくイタリア語版として作られたことが判る。

《サンドリヨン》イタリア初版楽譜 (1900年。ミラーノ、エドアルド・ソンゾーニョ社、筆者コレクション)



外装



タイトル頁



第1幕冒頭頁(p.1)

(2013年1月作成。水谷彰良)